



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

有田2000 ロータリークラブ

No. 957
Club Bulletin

会長 梅本茂喜
幹事 中屋喜臣
クラブ会報委員長 森 誠

祝！！ 2021-22年度開始

四つのテスト 言行はこれに照らしてから

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

例会日/毎週水曜日 19:00
事務局・例会場/〒643-0025
有田郡有田川町土生409
吉備インターゴルフセンター
TEL0737-52-8960
FAX0737-22-6800
E-mail: info@arida2000rotary.club
URL: http://arida2000rotary.club/

本日のプログラム

令和3年8月4日 第958回
ソング「君が代」「奉仕の理想」
会長の時間 幹事報告 委員会報告
ニコニコ箱報告 出席報告
会員卓話 森誠君

次回のプログラム

8月11日 細則による休会
8月18日 細則による休会
8月25日 会員卓話 佐原伸哉君
9月 4日 有田巨峰村 森園移動例会

前回の報告（第957例会）

開催日 令和3年7月28日（水）

点鐘 梅本会長

ソング「我等の生業」

ゲスト

ガバナー公式訪問 豊岡敏様 富田林RC

ガバナー補佐 中西秀文様 海南東RC

●会長の時間●

梅本茂喜君

皆さんこんばんは。
本日の例会は豊岡ガバナーをお迎えしてのガバナー公式訪問です。

豊岡ガバナー様本日はお忙しい中お越しいただきありがとうございます。また中西ガバナー補佐様には先週に続いてのご出席ありがとうございます。

例会の前にガバナー・ガバナー補佐様と会長・幹事でお話をさせていただきました、色々なご助言をいただきました。この一年間の活動に活かして頂きたいと思います。

私どものクラブは若い会員さんが多いのでガバナー公式訪問について少しお話をさせていただきます。手続き要覧より、ガバナー自身が地区内の



個々のクラブまたは複数クラブをグループとして、以下の様な目的を持って訪問する。

- ・ロータリーの重要な問題に焦点を当て関心を持たせる
- ・弱体クラブ、あるいは問題のあるクラブに特別な関心を払う
- ・奉仕活動に参加へのロータリアンの意欲をかきたてる
- ・クラブの定款と細則が、ロータリーの組織規定を順守している事を確認する

・顕著な貢献をした地区内のロータリアンをガバナー自ら表彰する

クラブ訪問が行われる事でクラブ運営に助言を頂き活かしていきたいと思ひます。

本日7月28日は夏の土用の丑の日だそうです。土用は季節ごとにあるのですが、夏の土用は体調を崩しやすい時期のため重要視され夏バテ防止にウナギや梅干しなどを食べて又、桃の葉などを入れた丑湯に浸かって夏の疲れを癒すそうです。ウナギや梅干しで夏バテの予防は昔からの風習で食べている様に思ひますが疲労回復に効くビタミンやエネルギー源となる脂質をたっぷり含む滋養に富んだ食材で確かに夏バテ防止には良いようです。昔から親しまれた「う」のつくものや土用の行事食で

- ・梅干し：クエン酸が疲れをとり食欲を増進
- ・うどん：さっぱりしてのど越しもよく、暑い日でも食べやすい
- ・ウリ類：キュウリ、スイカ、カボチャ、ゴー

ヤは体の熱をとり利尿作用で体内のバランスを整える

- ・土用しじみ：肝臓の働きを助けることから「土用しじみは服薬」と言われています。
- ・土用のたまご：精をつけるため卵を食べる風習は、江戸時代から行われていた様です。卵が贅沢品だった時代は、ひよこ一匹を育てるための栄養が詰まっている卵は、滋養たっぷりの食品です。

- ・丑湯で夏の疲れを癒やそう

丑湯に入る薬草は桃の葉やドクダミなどで、あせもやしっしんなどの肌のトラブルを和らげる効果が期待できます。

日頃から湯船に入らずシャワー派の人も土用の丑の日は「丑湯に浸かり夏の疲れを癒やしましょう」

●幹事報告●

中屋喜臣君

- ・2640地区より環境保全プロジェクトについて（回覧）
- ・例会変更はホワイトボードに掲示
- ・本日例会終了後、理事会はありません。
- ・次回の例会 8月4日は森誠さんによる会員卓話です。森さんよろしくお願ひします。その後、第2回理事会があります。



●ニコニコ箱報告●

梅本茂喜君：豊岡ガバナー様 中西ガバナー補佐様 本日はお越し頂き有難うございます。宜しくお願い致します。

中屋喜臣君：皆様お疲れ様です。本日 豊岡様中西様お忙しい中有難うございます。宜しくお願い致します。

永石睦巳君：豊岡ガバナー様 一年間頑張ってください。

樋口明君：豊岡ガバナー様 中西ガバナー補佐様 本日は宜しくお願い致します。

下林善信君：豊岡ガバナー様 お越しいたきありがとうございます。

南良暢君：豊岡ガバナー 本日はお越し頂き有難うございます。

大浦輝彦君：みなさこんばんは。豊岡ガバナー様様本日はようこそお越し下さいました。宜しくお願い致します。

川島信治様：豊岡ガバナー様 中西ガバナー補佐様 本日は公式訪問にお越し頂き有難うございます。

平松一彦君：豊岡ガバナー様 本日はお忙しい中御訪問有難うございます。ガバナーアドレス宜しくお願い致します。

森誠君：本日はお忙しい中、豊岡ガバナー様御訪問有難うございます。宜しくお願いします

●出席報告●
樋口明君



	会員数	出席者数	出席率
本日の出席	17名	12名	70.5%
7月から平均	17名	13名	76.4%

ガバナーアドレス

国際ロータリー第2640 地区
2021年2022 年度
ガバナー 豊岡 敬

2019 年末に中国で発生しました新型コロナウイルスの世界的な感染流行は、ロータリーにも多大な影響を与えました。



2021 年2 月にアメリカのオランダで開催が予定されておりました国際協議会は、初めてオンラインによるバーチャル開催となりました。RI からは、2021 年6 月末までは、バーチャルでの対応を基本にするように指針が出されまして、「地区チーム研修」「PETS 会口エレクト研修セミナー」「地区研修協議会」は、YouTube によるライブ配信や冊子の配布による代替えとなりました。

また、青少年交換プログラムについても、2022 年6 月末までの一時休止となり、その他プログラムにおいても例年とは違い、開催の取り止めや、オンラインでの対応となっております。

今後、ワクチン接種の普及によって、新型コロナウイルスの感染が終息することを願ひたいのですが、変異株の感染流行などもあって、予断を許さないように思われます。

ロータリーの例会、奉仕、親睦においても安全・安心が第一です。しかしながら、休会続きであれば、会員さん達の心は自然とロータリーから離れていってしまいます。オンライン等を上手に使いながら、新しいスタイルを確立してみてください。

私は、本年度の地区スローガンを「広げようロータリーの光を！」としました。伝教大師・最澄の言葉に「一隅を照らすこれ即ち国宝なり」があります。ロータリアン一人一人は、その職業において、奉仕活動において、青少年の健全な育成において、世の中を明るく照らす光であると考えます。そして、世の中をよりよくするために、志を

同じくする人を増やして、光の輪を広げていきたいと考えます。なお、松原中ロータリークラブの泉本信彦会員が作詞・作曲した「奉仕の光」をテーマソングにさせて頂きました。ロータリーソングの一つとして口く歌い継がれることを望みます。

RI 会口のシェカール・メータ氏は、本年度テーマを「奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために」(Serve to Change Lives)とされました。奉仕するとき、誰かの人生だけでなく、自分の人生も豊かになります。アルバート・アインシュタイン博士が言ったように、「誰かのために生きてこそ、人生には価値がある」のです。また、メータ会口は「もっと行動し、もっと成口する」とも言われております。

「もっと行動し」とは、より大きく、インパクトをもたらす奉仕プロジェクトを意味します。「もっと成口する」とは、会員を増やし、参加者基盤を広げることを意味します。過去17年以上、ロータリーの会員数は120万人のまま横ばいとなっています。メータ会口は、2022年7月1日までに会員数を130万人に増やすことを目標としています。2640地区は、かつては3000名を超える会員数がありましたが、現在は1700名まで減少しています。メータ会口が言われるように奉仕の原動力は、我々ロータリアン一人一人であり、会員数を増やすことで世の中を良くしていく力を付けていくこととなります。地区ビジョンの中にも明記させて頂きましたが、まずは地区の会員数を早期に1800名まで回復させることを目指します。一般の方にロータリーを知って頂くために、ゲストの方を中心にしたオープン例会等の企画もお願いします。

ロータリーの中核的価値観の一つは「多様性」です。ロータリーのDEI(多様性、公平さ、インクルージョン=包摂)の声明にも含まれており、メータ会口は、特に女子のエンパワーメントに焦点を当てています。世界各地で女子は多くの問題に直面をしており、彼女たちの抱える問題にロータリーが取り組むことを求められております。2640地区では、女子の問題に取り組む以前の問題として女性会員の割合が7.7%と少ないです。1989年から女性会員の入会が認められ、世界では女性会員の割合が23%になっています。2022-2023年度には、ロータリー115年の歴史で初めての女性RI会口ジェニファージョーンズ会口が誕生します。藤井年度に女性ゼロクラブゼロを掲げられましたが、未だ達成できていません。本年度も女性ゼロクラブゼロを目指すとともに、若い人や外国から来日された人等、多様なバックグラウンドがある会員の増強に努めていきます。

シェカール・メータRI会口は、広く一般の市民も参加できる、ロータリー奉仕デーの開催

を呼び掛けています。茨城県の2820地区では、ロータリー奉仕デーとして茨城の海岸の清掃活動をするそうです。以前からマイクロプラスチックによる海洋汚染問題に関心を持っており、地区内55クラブの皆さんで9月12日に海岸清掃を行うそうであります。2820地区のすごいところは、海岸清掃の呼びかけを世界中に発信していることで、9月12日に世界中で一緒に海岸清掃をしましょうと英語でFacebookやホームページで発信していることです。2640地区では、クラブ単位で、分区単位で一般の市民の方が参加できるロータリー奉仕デーの企画・実行を行い、ロータリーの公共イメージの向上に努めて下さい。地区としても10月24日の世界ポリオデーにて、ロータリー奉仕デーの開催を検討したいと思います。ロータリー財団と米山記念奨学会への寄付のお願いをさせて頂きます。ロータリー財団は、1917年に6代目RI会口アーチクランフの「世界でよいことをしよう」との呼びかけで、最初の寄付26ドル50セントから始まり、現在では10億ドルを超える財団になっています。

継続的に奉仕を行うためには、安定した資金が必要です。1979年にフィリピンで児童への経口ポリオワクチンの投与が行われ、1985年にポリオプラスキャンペーンが始まり、世界からポリオを根絶するために財団への寄付が活用されました。昨年アフリカでのポリオ野生株の根絶がWHOで確認されました。あと残すは、アフガニスタンとパキスタンの2か国だけです。引き続き、ポリオプラスも含めて財団へのご寄付をお願いします。寄付目標は、年次寄付一人当たり180ドル、ポリオプラス寄付30ドルでお願いします。日本に初めてのロータリークラブ、東京ロータリークラブを設立した、米山梅吉翁の遺徳を記念する事業として1952年に東京ロータリークラブは、日本で学ぶ外国人留学生を支援する国際奨学事業を始めました。これが今日のロータリー米山記念奨学会事業の始まりです。

米山奨学生は、日本と母国の架け橋となる人材を選考していきまして、この50年間に累計で2万人、出身国は120を超える国と地域になります。寄付目標は、米山普通寄付を一人当たり6000円、米山特別寄付を一人当たり10000円とさせて頂きました。

日本国内34地区は、ロータリー財団への寄付と米山奨学会への寄付ゼロクラブゼロを目指しております。奉仕の原資として寄付をすることは当然のことなのですが、34地区で足並みを揃えるためにも、ゼロクラブゼロを目指していきたいと思っております。どうぞ、上半期のうちに些少でもご寄付して頂くことをお願い申し上げます。

我々は、次世代のリーダーの育成に尽力する必要があります。2640地区では、RLI(Rotary Leadership Institute)を開催します。RLIは、国際ロータリー公認のプログラムではありません

せんが、国際協議会でも導入されているファッシリテーター方式によりロータリーを理解するプログラムです。けして、単なる会議の進め方ではありません。RLI のプログラムの中には、DL (Discussion Leader) の存在が重要であり、またDL が人材育成の恩恵を一番に受けます。2640 地区ではDL の育成に重点をおきます。各クラブにおいて、将来を担う人材をDL 研修に出して頂くことをお願いいたします。

2640 地区では、戦略委員会にて地区の中期ビジョン、アクションプランなど直前ガバナーを委員とし、パストガバナー、ガバナー、ガバナーエレクト、ガバナーノミニーと共に検討しています。各クラブにおいても、どんなクラブにしたいのか、どんなクラブであるべきなのか、どんなクラブを目指すのか、クラブの柔軟性、継続性において検討をお願いします。

クラブの将来ビジョンに基づいて、実行するべきことを考えて行きましょう。

青少年奉仕は、次世代を育成する大切な奉仕ではありますが、昨年度は新型コロナウイルスの感染流行によって、活動が制限され、様々な事業計画が実行できませんでした。

青少年交換プログラムについては、RI から2022年6月末までのプログラムの一時停止が通知されております。2022年7月以降については、条件付きながら実施を認めるとされております。ワクチン接種は広がっておりますが、変異株の流行もありまして、2022年度においても不透明であり、2640地区青少年交換委員会では、2022年—2023年度の青少年交換学生の募集も止める決定を致しました。現状では、2023年—2024年の再開に向けて、各クラブの青少年委員会の皆様と学校訪問を行う予定になっております。

ロータリーの生みの親である、ポールハリスは、生まれはウィスコンシン州ですが、子供時代から青年期を東海岸のバーモント州で過ごしました。最初に入學した大学はバーリントン市にあるバーモント大学です。私もポールハリスの100年後、同じバーリントン市で学生時代を送りました。丁度、民主党から大統領選に出馬したバーニーサンダースがバーリントン市口だった時代で、全米で一番暮しやすい市に選ばれた頃です。バーモントは、本当にのんびりとした田舎で、人の数より牛の数の方が多いと言われております。そんなバーモントの田舎から、マフィアのアルカポネが暗躍する大都会シカゴで弁護士事務所を開設したポールハリスは、信頼できる友人を得るためにロータリークラブを設立しました。ですから、ロータリーの原点は、信頼できる友人と出会える場なのだと思います。もう一度、地区スローガンに戻りますが、「広げようロータリーの光を！」、ぜひロータリーの友愛の光を広げて、志を同じくする仲間を増やしていきましょう！

●閉館点鐘● 梅本会長



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

